

キャディ委員会



キャディ委員長
理事

渡邊 満雄

キャディ研修に参加して

今年も恒例の藤間プロによるキャディ実践教育が行われ、委員会として、渡邊、森、樽林、島本のメンバーが参加しました。

研修はOUT1番～9番を使い、プロと委員会メンバーが客役となり、キャディは1ホールずつ担当して評価を受け、9ホール終わったら直ちに会議室にて、良かった点、悪かった点、反省点を出し合い技術の習得、目配り、気配り等の接客向上を目指す貴重な内容。

早朝7時30分、総勢22名のキャディがOUT1番ホール付近に集合、ベテラン、中堅、若手、昨日入社したばかりの新人が緊張した面持ちで研修の目的、重要なポイントを藤間プロより聞き入った。(写真-1)

1番ホールのキャディは、挨拶、自己紹介、クラブ確認の手順を踏み、ホールの特徴左右バンカーまでの距離説明を行いスタート、2打目の地点では素早くクラブ数本を渡し、打つべき方向、時にはニアレスポイントの処理方法、3打目ではグリーンまでの距離、周辺の状態、グリーン形状、速さなどを判りやすく自信を持って伝える実践教育だ。

4番ホールでは、グリーン手前の池にボールが落ちた時、ウォーターハザード処置の仕方を藤間プロより懇切丁寧な指導があり、キャディも大変貴重な実践習得ができた。これを9番ホールまで繰り返したが、対応が遅いと大きな声で厳しく叱咤された。(写真-2)

その他状況に応じてのルール説明や指導が入り、時には客役からの質問に担当キャディは丁寧に答える等真剣に対応、残りのキャディも熱心にメモを取り、お客様から「頼りになるキャディ」と言われる体制づくりに貴重な汗を流した。

9番ホールを終了したその足で全員会議室に集合、OUT9ホールをもう一度振り返り様々な確認、指摘、的確な対応の指示があり、半日に亘る研修を終了した。(写真-3)

参加しての感想は、藤間プロが様々な状況下でキャディに訴えた言葉の中で、「迅速な対応をなさい!」「自信を持って即答をなさい!」それがお客様にとって、安心してまかされるキャディ、喜ばれるキャディだと教える言葉に重みと説得力を強く感じました。

◎マスター室よりお客様へ!!

プレーが終了し、マスター室前でマイクラブの最終確認をしますが、まずカバーをはずした状態で本数、種類、パターン等の確認を行い、間違いなかったら確認サインをお願い致します。

ともすると帰りを急ぐあまり、見落としがちですが「1日楽しくラウンドできた」証としてご協力をよろしくお願ひ致します。

キャディ委員会

委員長	渡邊 満雄	委員	島本 高範
副委員長	森 茂光	委員	塩澤 宏章
委員	樽林 豊壽	委員	鈴木 政義
委員	齊藤二三男	委員	土橋 努



(写真-1) スタート前



(写真-2) 4番ホール池周辺



(写真-3) 会議室にて